

第3編

処置料・リハビリテーション料

公益財団法人 労災保険情報センター

◆ 処置料

◆ リハビリテーション料

◆ 処置及び

リハビリテーションの特例

◆ 処置料

・四肢加算

四肢加算

(1点未満の端数切り上げ)
(一般処置)

テキスト9 2頁

1.5倍

鎖骨・肩甲骨・
股関節含む

2.0倍

手及び手の指
(手関節含む)

創傷処置

下肢創傷処置

熱傷処置

絆創膏固定術

鎖骨又は肋骨骨折固定術

重度褥瘡処置

爪甲除去

穿刺排膿後薬液注入

ドレーン法

(皮膚科処置)

皮膚科軟膏処置

皮膚科光線療法

(整形外科的処置)

関節穿刺

粘(滑)液嚢穿刺注入

ガングリオン穿刺術

ガングリオン圧砕法

鋼線等による直達牽引
(2日目以降)

介達牽引

矯正固定

変形機械矯正術

消炎鎮痛等処置

手技による療法
器具による療法
湿布処置

低出力レーザー照射

四肢加算

ポイント①

四肢加算の対象とならないもの

ギプス

医療機器等加算

薬剤料

特定保険医療材料料

例題

- ①左手背にドレーン法(その他のもの)
- ②左手背に消炎鎮痛等処置(器具)
- ③左足

四肢加算が適用される場合の
外来管理加算の特例は?

- ① ドレーン法(その他) ▶ 2.0倍

四肢加算

$$25 \text{ 点} \times 2.0 = 50 \text{ 点}$$

- ② 消炎鎮痛等処置(器具) ▶ 1.5倍

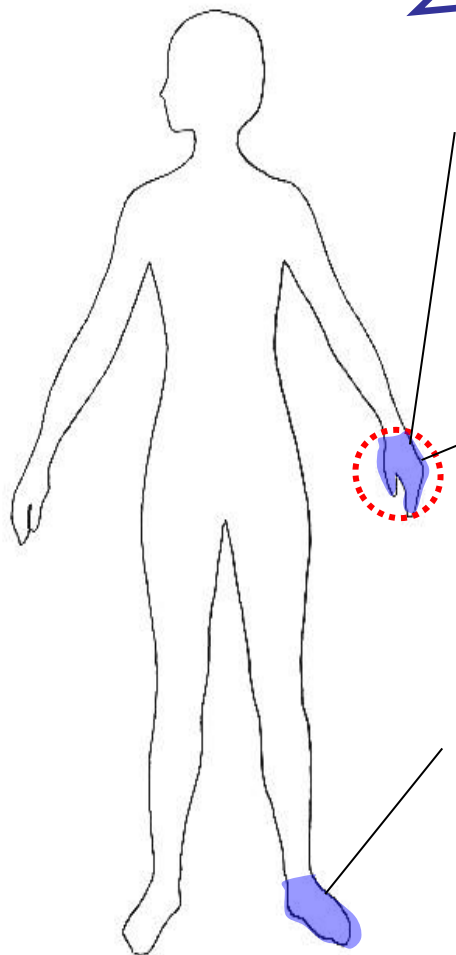
四肢加算

$$35 \text{ 点} \times 1.5 = 53 \text{ 点}$$

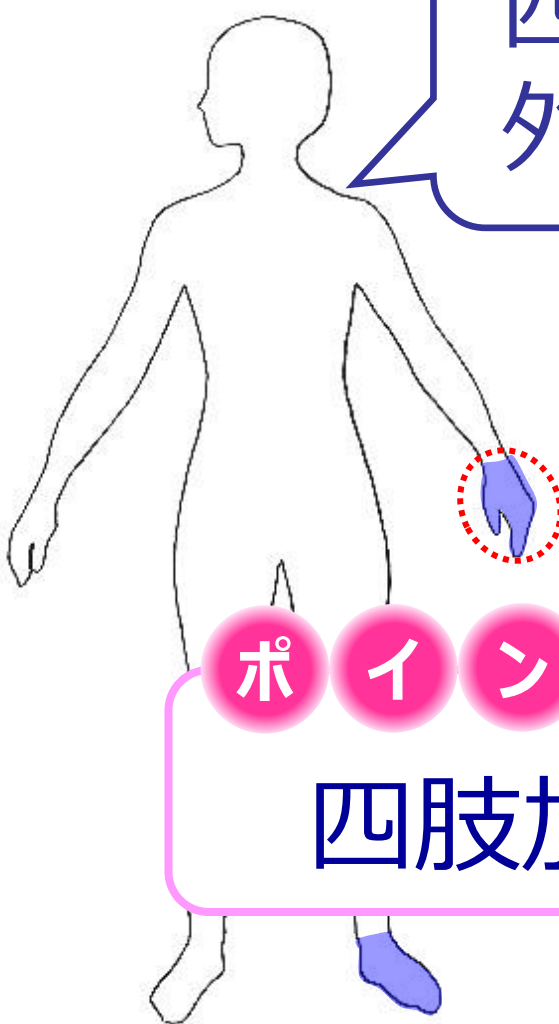
- ③ 消炎鎮痛等処置(器具) ▶ 1.5倍

四肢加算

$$35 \text{ 点} \times 1.5 = 53 \text{ 点}$$



四肢加算



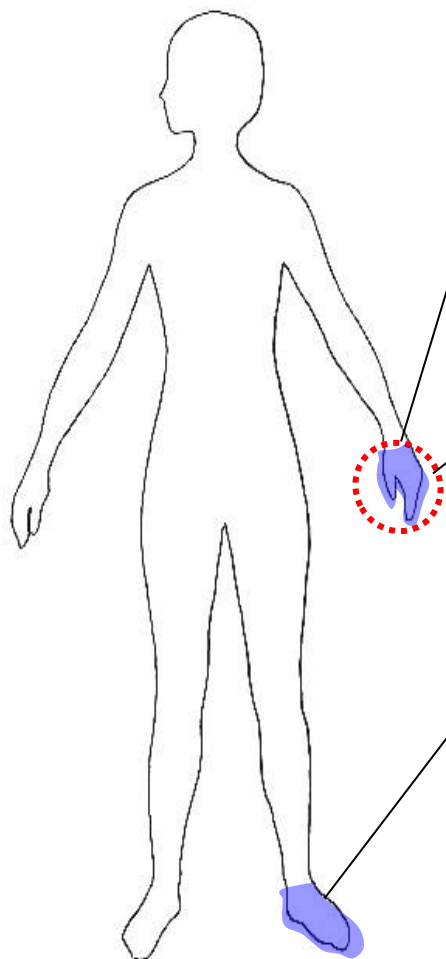
四肢加算が適用される場合の
外来管理加算の特例は？

ポイント ②

四肢加算後の特例点数が基準

例題

- ①左手背にドレーン法(その他のもの)
- ②左手背に消炎鎮痛等処置(器具)
- ③左足背に消炎鎮痛等処置(器具)



① ドレーン法(その他)

四肢加算

$$25\text{点} \times 2.0 = 50\text{点}$$

外来管理加算
特例

<52点 ○

② 消炎鎮痛等処置(器具)

四肢加算

$$35\text{点} \times 1.5 = 53\text{点}$$

>52点 ✕

③ 消炎鎮痛等処置(器具)

四肢加算

$$35\text{点} \times 1.5 = 53\text{点}$$

>52点 ✕

レセプト記入例（例題①）

診 療 内 容			点数	診 療 内 容		金 額	摘 要	
⑪初診		時間外・休日・深夜		⑪初 診			特 52 × 1	
⑫再 診	外来管理加算 52 × 1回		52	⑫再 診 1回		1, 420 円		
				⑬指 導				
	時間外 × 回			⑧ そ の 他				
	休 日 × 回							
深 夜 × 回								
⑬指導				小 計		① 1, 420 円	摘 要	
⑭在 宅	往 診							
	夜 間							
	緊急・深夜							
	在宅患者訪問診療							
その他								
薬 剤								
⑯投	②① 内服 薬剤 単位			40 *ドレーン法(左手背) (25 × 2.0) 50 × 1				
	調剤 × 回							
	②② 屯服 薬剤 単位							
	②③ 外用 薬剤 単位							

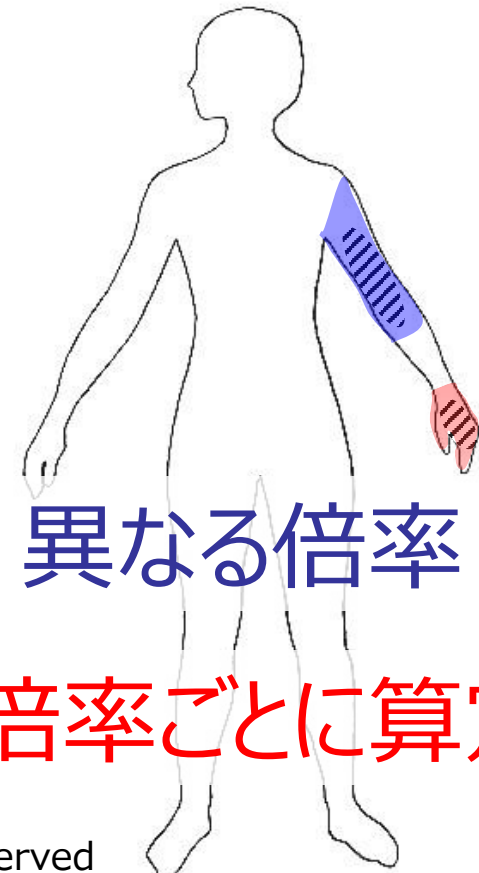
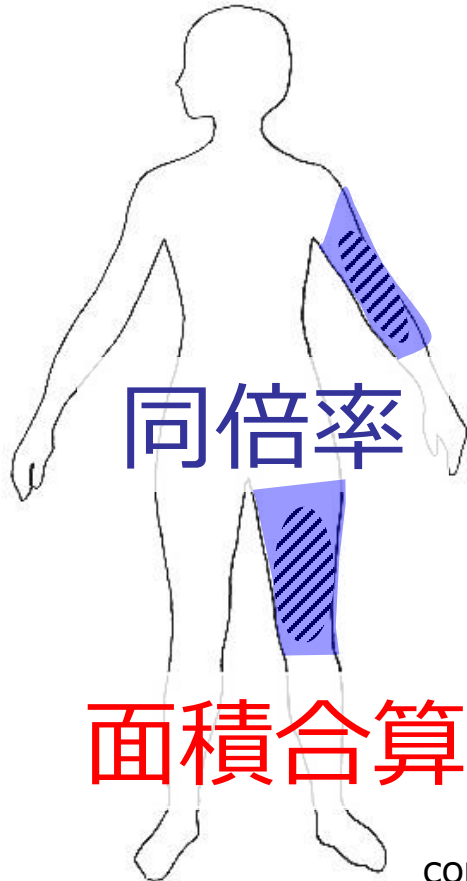
四肢加算

ポイント③

健保において処置面積を合算して算定する

「創傷処置」「皮膚科軟膏処置」「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに処置面積を合算して算定



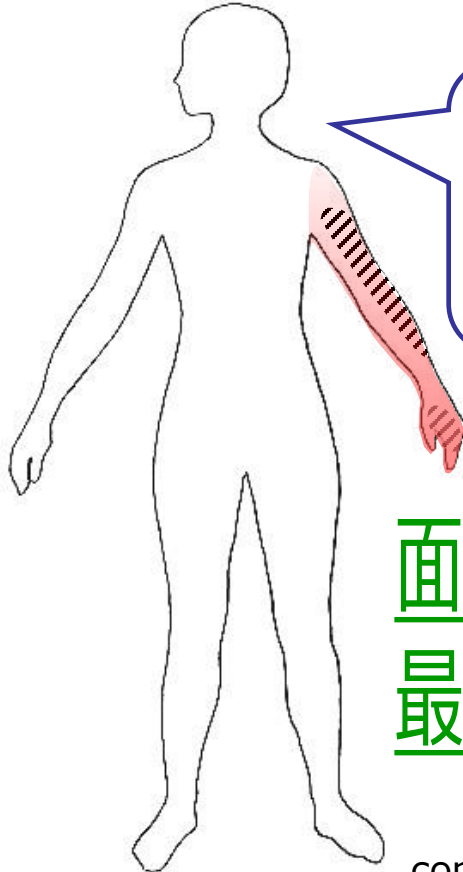
四肢加算

ポイント③

健保において処置面積を合算して算定する

「創傷処置」「皮膚科軟膏処置」「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに処置面積を合算して算定



四肢加算の倍率が異なる範囲にまたがって行う場合は？

面積を合算し、該当する区分の所定点数に対し
最も高い倍率で算定

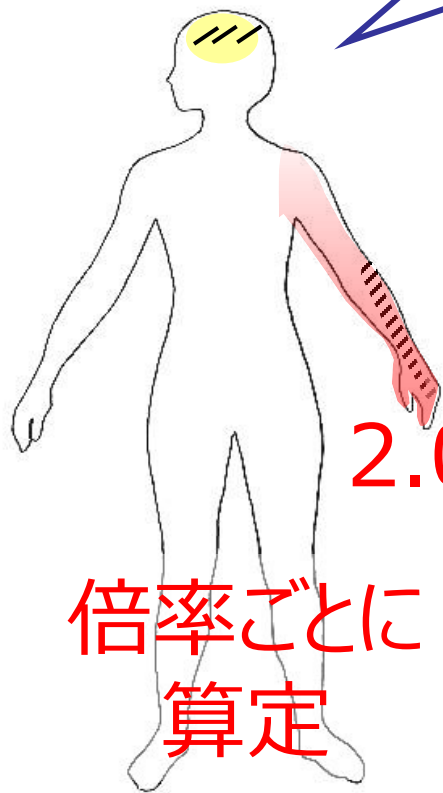
例題

再診時に創傷処置を前額部に30cm²、
左前腕から左手部に連続して150cm²
行った場合、

(同一)

前額部の創傷処置を45点として
算定し、外来管理加算の特例を算
定できるか？

1.0倍



2.0倍

倍率ごとに
算定

前 額 部 52点

左前腕 ～ 手 部

四肢加算

$$60 \text{ 点} \times 2.0 = 120 \text{ 点}$$

172点

例題

再診時に創傷処置を前額部に 30 cm^2 、
左前腕から左手部に連続して 150 cm^2
行った場合

(同 外来管理加算特例は
四肢加算の倍率ごとに算定し合算
した点数を基準に判断

1.0倍



2.0倍

前 額 部

5 2 点

左前腕 ～ 手 部

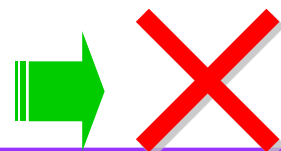
四肢加算

6 0 点 $\times$ 2 . 0 = 1 2 0 点

1 7 2 点

倍率ごとに
算定

外来管理加算特例



レセプト記入例（例題）

摘

要

④ 0

*創傷処置（前額部）

52 × 1

*創傷処置（左前腕～左手部）
（60 × 2.0）

120 × 1

◆リハビリテーション料

- ・疾患別リハビリテーション料
- ・A D L 加算
- ・四肢加算
- ・標準的算定日数に係る取扱い

疾患別リハビリテーション料

(1 単位)	(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)
心大血管疾患 リハビリテーション料	2 5 0 点	1 2 5 点	
脳血管疾患等 リハビリテーション料	2 5 0 点	2 0 0 点	1 0 0 点
廃用症候群 リハビリテーション料	2 5 0 点	2 0 0 点	1 0 0 点
運 動 器 リハビリテーション料	1 9 0 点	1 8 0 点	8 5 点
呼 吸 器 リハビリテーション料	1 8 0 点	8 5 点	

早期リハビリテーション加算 25点
 初期加算 45点
 急性期リハビリテーション加算 50点

…算定可



A D L 加算

3 0 点（1 単位につき）

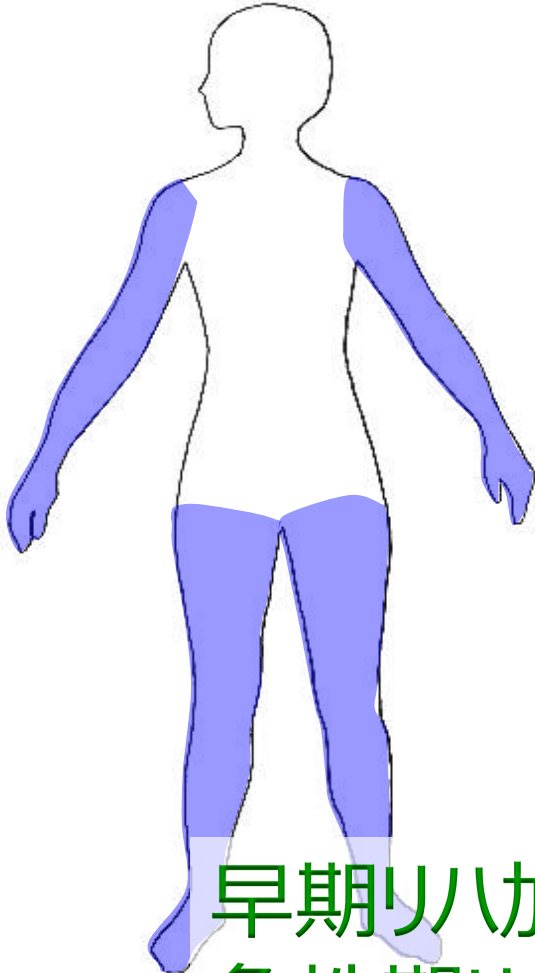
入院中の傷病労働者に対し、
訓練室以外の病棟等において 早期歩行、A D L の
自立等を目的とした疾患別リハビリテーション(Ⅰ)
(運動器においては(Ⅱ)を含む)を行った場合

又は

医療機関外において 疾患別リハビリテーション(Ⅰ)
(運動器においては(Ⅱ)を含まない)を算定できる
訓練に関するリハビリを行った場合

四肢加算 1.5 倍

鎖骨・肩甲骨・股関節含む



疾患別リハビリテーション料

心大血管疾患リハビリテーション料

脳血管疾患等リハビリテーション料

廃用症候群 リハビリテーション料

運動器 リハビリテーション料

呼吸器 リハビリテーション料

早期リハ加算・初期加算

急性期リハ加算・ADL加算

... 四肢加算
対象外

例題

大腿骨頸部骨折で入院中の患者に対し、
運動器リハビリテーション(Ⅰ)、早期リハビリ
テーション加算、A D L 加算をそれぞれ
1 単位算定する場合

労災

運動器リハ(Ⅰ)

四肢加算

190点 × 1.5 = 285点

早期リハ加算 25点

A D L 加算 30点

合 計 340点

健保

185点

25点

—

210点

早期リハ加算・ADL加算…四肢加算不可

標準的算定日数に係る取扱い

必要性及び効果が認められる場合は、標準的算定日数を超えて算定できる。

標準的算定日数を超えた場合の
「単位数上限」は適用しない。

「単位数上限」(1月13単位) を超える場合は

- ・レセプト摘要欄に医学的所見等を記載
又は
- ・「労災リハビリテーション評価計画書」添付

◆処置及びリハビリテーションの特例

- ・処置の特例

3 部位又は 3 局所の取扱い
湿布処置の取扱い

- ・リハビリテーション及び処置の併施
処置の併施

リハビリテーション及び処置の併施

処置の特例

介達牽引、矯正固定、変形機械矯正術
手技による療法、器具等による療法
腰部又は胸部固定帯固定
低出力レーザー照射

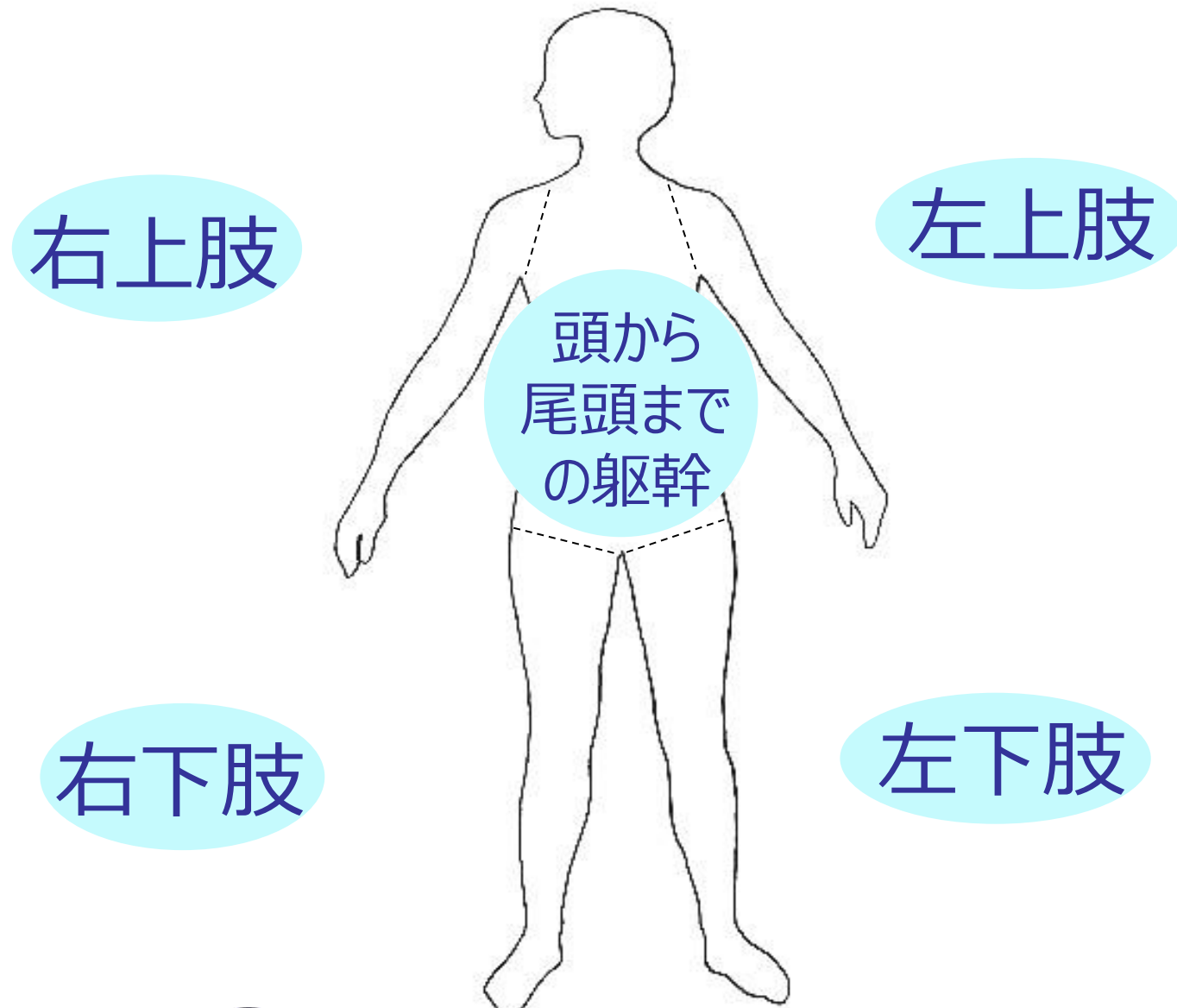
負 傷

1日につき
受傷部位ごとに
3 部位限度

疾 病

1日につき
3 局所限度

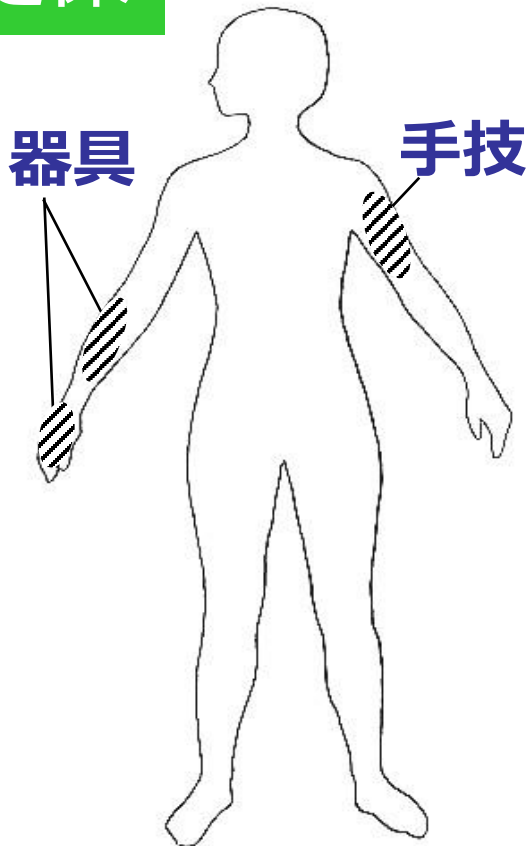
局所について



算定例 2

右手背に消炎鎮痛等処置(器具)
右前腕に消炎鎮痛等処置(器具)
左上腕に消炎鎮痛等処置(手技)

健保



主たる所定点数のみを算定

3 5 点

算定例 2

右手背に消炎鎮痛等処置(器具)
右前腕に消炎鎮痛等処置(器具)
左上腕に消炎鎮痛等処置(手技)

労災

① 負傷の場合

受傷部位ごとに 3 部位を限度

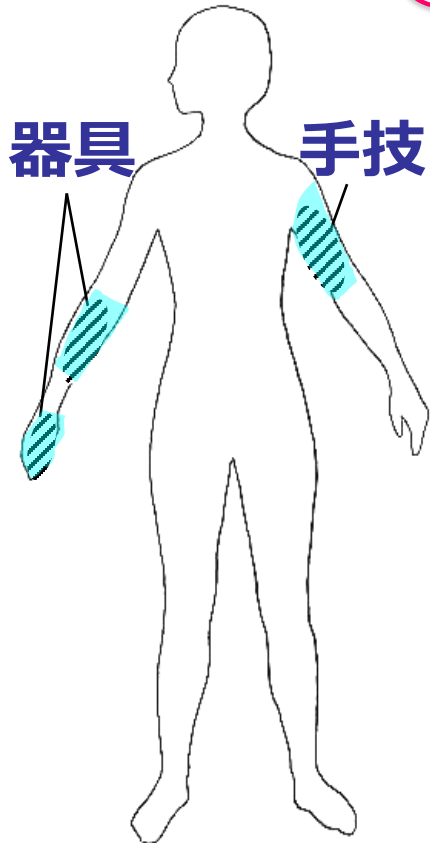
四肢加算

右手背 35点 × 1.5 = 53点

右前腕 35点 × 1.5 = 53点

左上腕 35点 × 1.5 = 53点

1 5 9 点

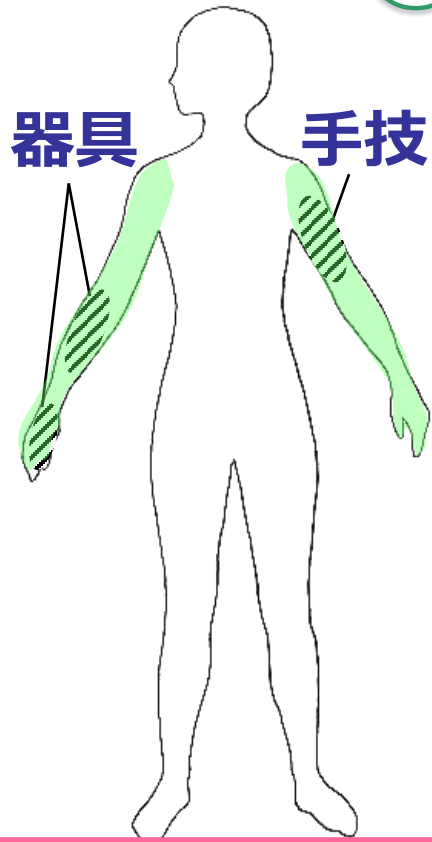


算定例 2

右手背に消炎鎮痛等処置(器具)
 右前腕に消炎鎮痛等処置(器具)
 左上腕に消炎鎮痛等処置(手技)

労災

② 疾病の場合 3 局所を限度



四肢加算

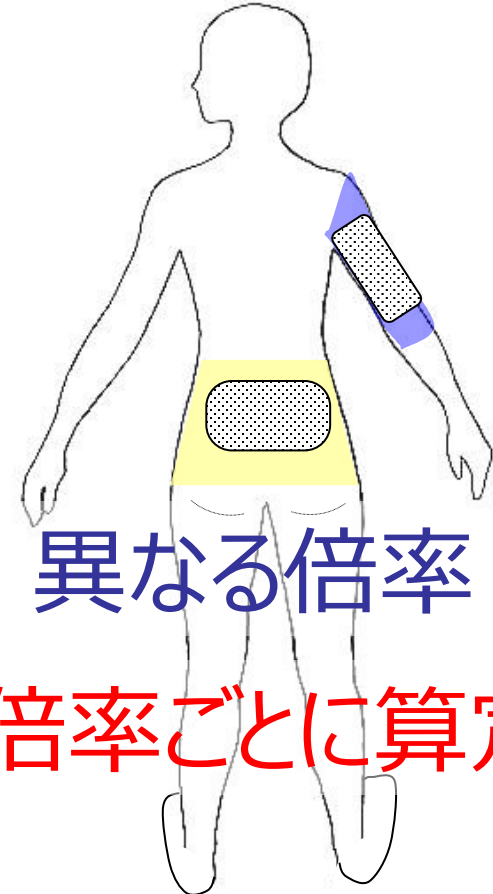
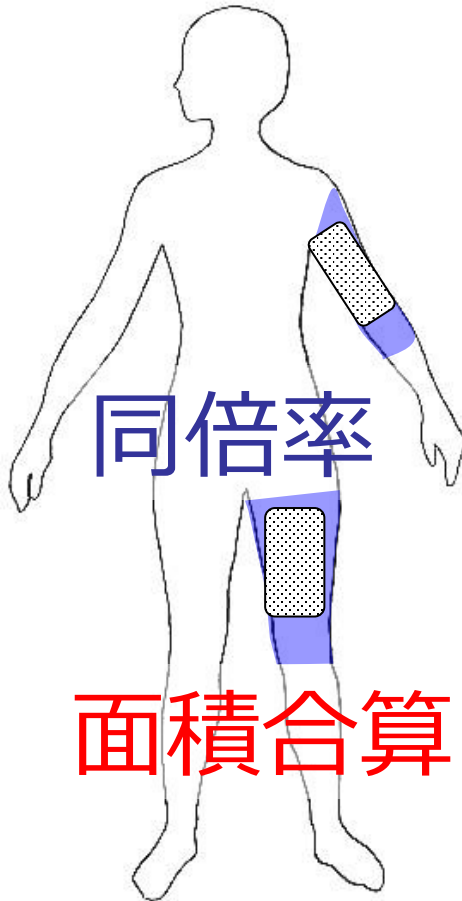
右手背	}	35点 × 1.5 = 53点
右前腕		
左上腕		35点 × 1.5 = 53点

106点

処置の特例

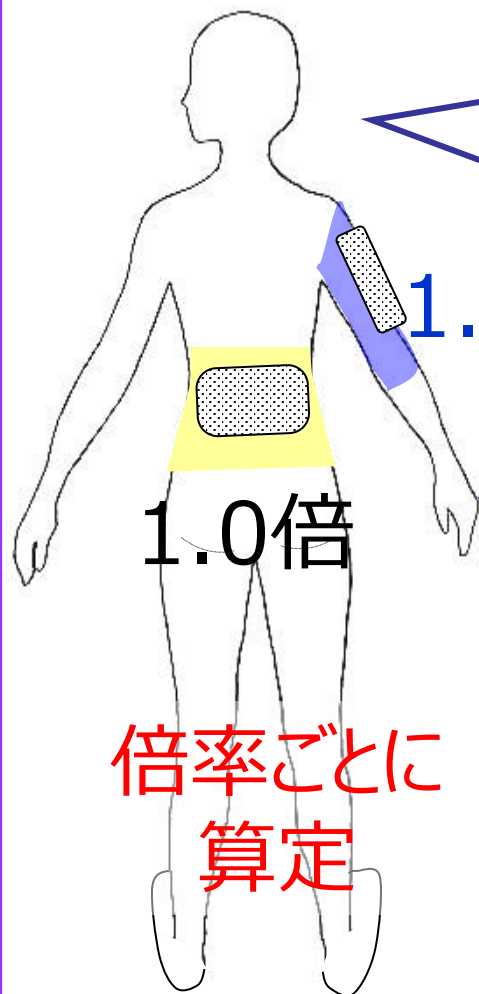
「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに算定し合算



右上腕部と腰部に湿布処置を行った場合
(各々半肢の大部以上の範囲)

外来管理加算の特例は?



1.5倍

1.0倍

倍率ごとに
算定

四肢加算

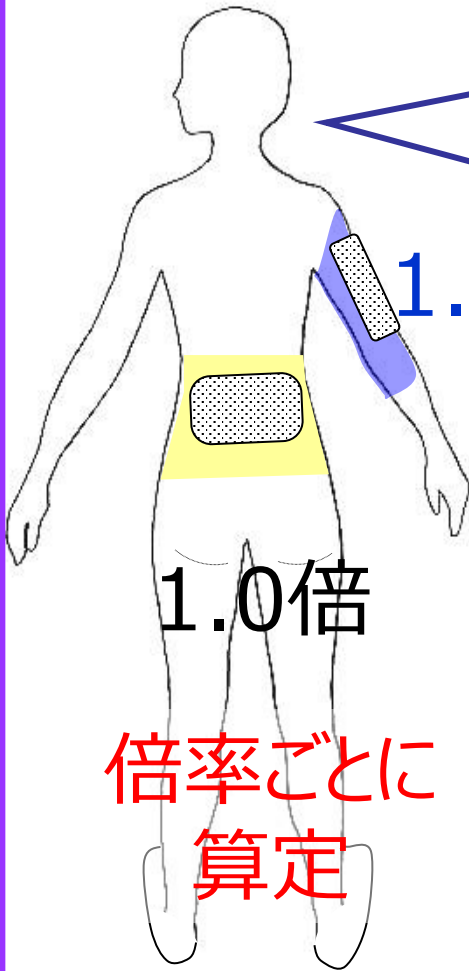
右上腕部	3 5 点	$\times 1.5 =$	5 3 点
腰部			3 5 点

8 8 点

算定例 3

右上腕部と腰部に湿布処置を行った場合
(各々半肢の大部以上の範囲)

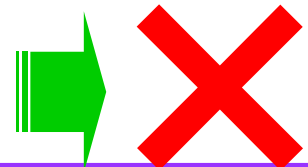
外来管理加算の特例は
四肢加算の倍率ごとに算定し合算
した点数を基準に判断



			四肢加算	
右上腕部	35点	$\times 1.5$	$= 53$	点
腰部				35点

52点 < 88点

外来管理加算特例

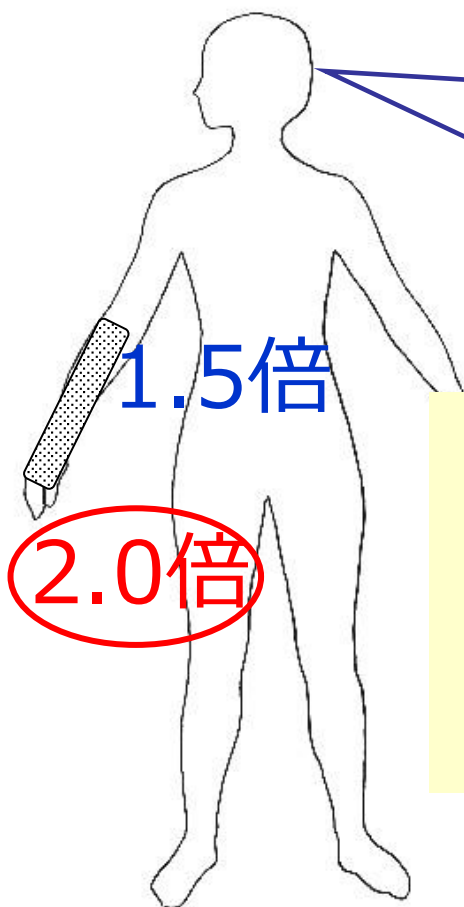


算定例 4

右手部から右前腕部に連続して湿布処置を行った場合（半肢の大部以上の範囲）

四肢加算の倍率が異なる範囲にまたがって行う場合は？

⇒ 最も高い倍率で算定



右手部～右前腕部	四肢加算	
35点	×	2.0 = 70点
		52点 < 70点

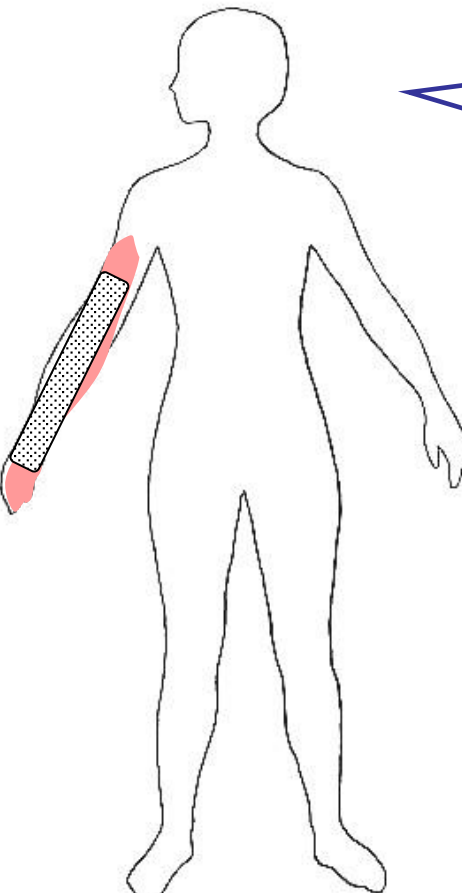
外来管理加算特例



処置の特例

「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに算定し合算



四肢加算の倍率が異なる範囲に
またがって行う場合は？

“半肢の大部又は頭部、頸部及び顔面の大部以上”
の範囲に該当

⇒ 最も高い倍率で算定

算定例 5

① 右表のように湿布
処置 を行った場合

部位	四肢加算	面積割合*
右前腕部	1.5倍	50%
右下腿部	1.5倍	50%
左下腿部	1.5倍	50%

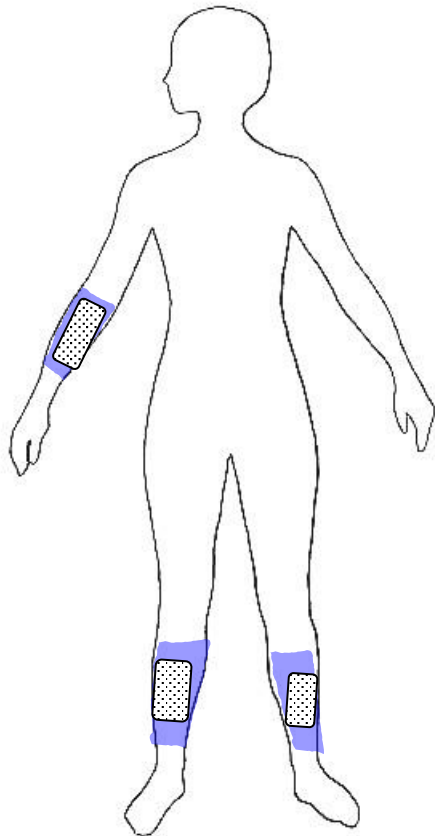
右前腕部・右下腿部・左下腿部

⇒ 四肢加算 同倍率

⇒ 合 算

「半肢の大部以上」の範囲

該当



四肢加算

$$35 \text{ 点} \times 1.5 = 53 \text{ 点}$$

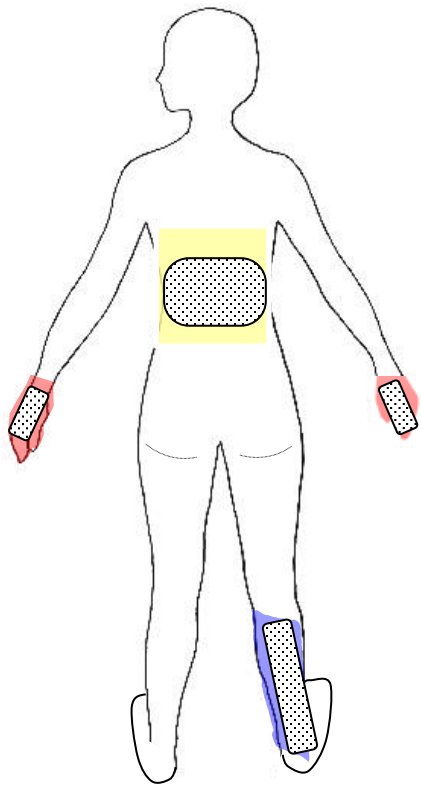
算定例 5

② 右表のように
湿布処置 を行った場合

部位	四肢加算	面積割合*
右手部・ 左手部	2.0倍	1 0 0 %
右下腿部	1.5倍	1 0 0 %
背 部	1.0倍	1 0 0 %

倍率が異なる部位ごとにおいて
「半肢の大部以上」の範囲

該当



四肢加算

右・左手部 3 5 点 × 2.0 = 7 0 点

右下腿部 3 5 点 × 1.5 = 5 3 点

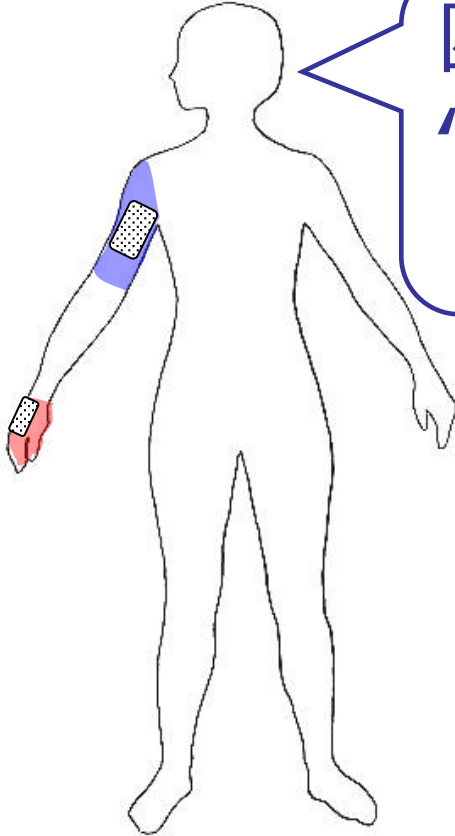
背 部 3 5 点

1 5 8 点

処置の特例

「湿布処置」

四肢加算の倍率ごとに算定し合算

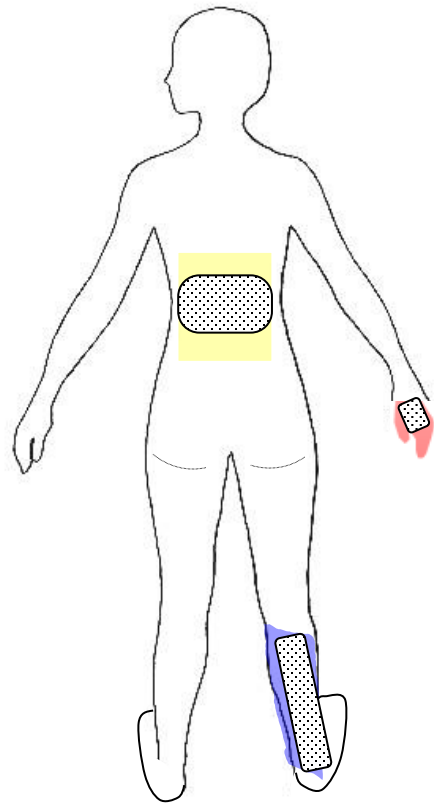


四肢加算の倍率ごとの処置面積が、
“半肢の大部以上”の範囲に
該当しない場合は？

算定例 5

③ 右表のように
湿布処置 を行った場合

部位	四肢加算	面積割合*
右手部	2.0倍	3 0 %
右下腿部	1.5倍	1 0 0 %
背 部	1.0倍	8 0 %



右下腿部 ⇒ 「半肢の大部以上」
の範囲 **該当**

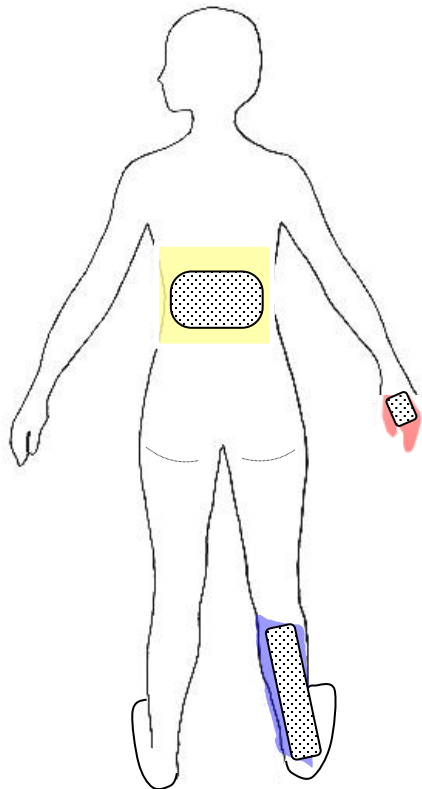
$$\text{四肢加算} \\ 35 \text{ 点} \times 1.5 = 53 \text{ 点}$$

右手部 ⇒ 「半肢の大部以上」
の範囲
背 部 ⇒ **該当しない**

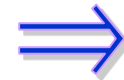
算定例 5

③ 右表のように
湿布処置 を行った場合

部位	四肢加算	面積割合*
右手部	2.0倍	30%
右下腿部	1.5倍	100%
背 部	1.0倍	80%



右手部
＋
背 部



「半肢の大部以上」
の範囲

該当

処置部位の中で最も高い倍率 2.0倍 で算定

四肢加算

右手部・背部 35点×2.0 = 70点

右下腿部 35点×1.5 = 53点

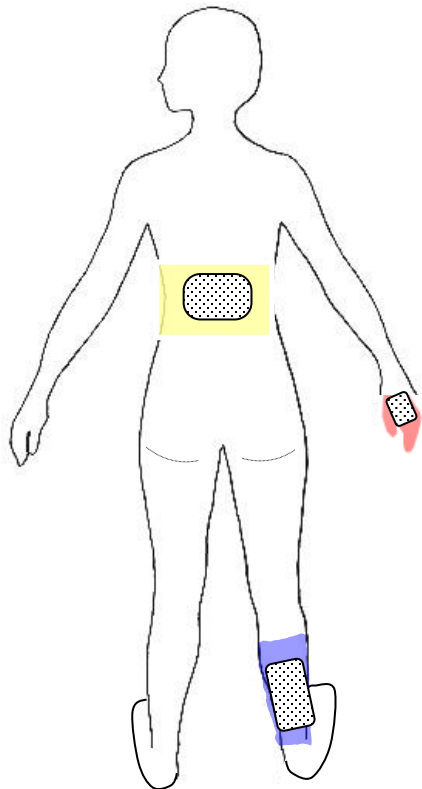
128点

算定例 5

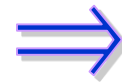
テキスト124頁・125頁

④ 右表のように
湿布処置 を行った場合

部位	四肢加算	面積割合*
右手部	2.0倍	30%
右下腿部	1.5倍	50%
背 部	1.0倍	50%



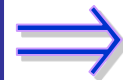
各部位



「半肢の大部以上」
の範囲

該当しない

右手部
+
右下腿部
+
背 部



「半肢の大部以上」
の範囲

該当

算定例 5

テキスト124頁・125頁

④ 右表のように
湿布処置 を行った場合

部位	四肢加算	面積割合*
右手部	2.0倍	30%
右下腿部	1.5倍	50%
背 部	1.0倍	50%

右手部 + 右下腿部 + 背 部

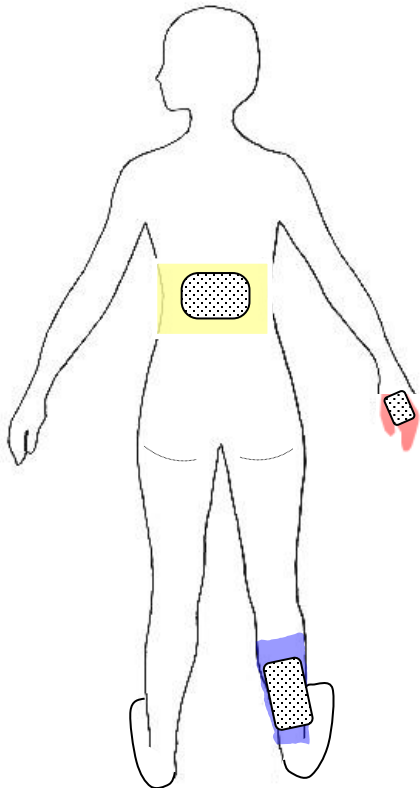
⇒「半肢の大部以上」の範囲

該当

処置部位の中で最も高い倍率 2.0倍 で算定

四肢加算

$$35点 \times 2.0 = 70点$$

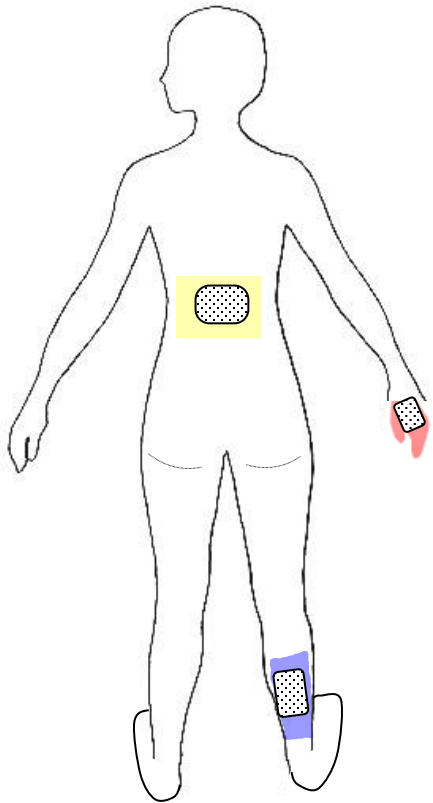


算定例 5

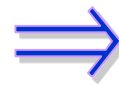
テキスト124頁・125頁

⑤ 右表のように
湿布処置を行った場合

部位	四肢加算	面積割合*
右手部	2.0倍	30%
右下腿部	1.5倍	30%
背部	1.0倍	30%



各部位



「半肢の大部以上」
の範囲 該当しない

右手部
＋
右下腿部
＋
背部



「半肢の大部以上」
の範囲 該当しない

算定不可

リハビリテーション及び処置の併施

湿布処置等と介達牽引・手技・器具等の併施

⚠異なる部位（局所）に行った場合に限る

湿布処置 等

四肢加算の倍率ごとに算定合算

+

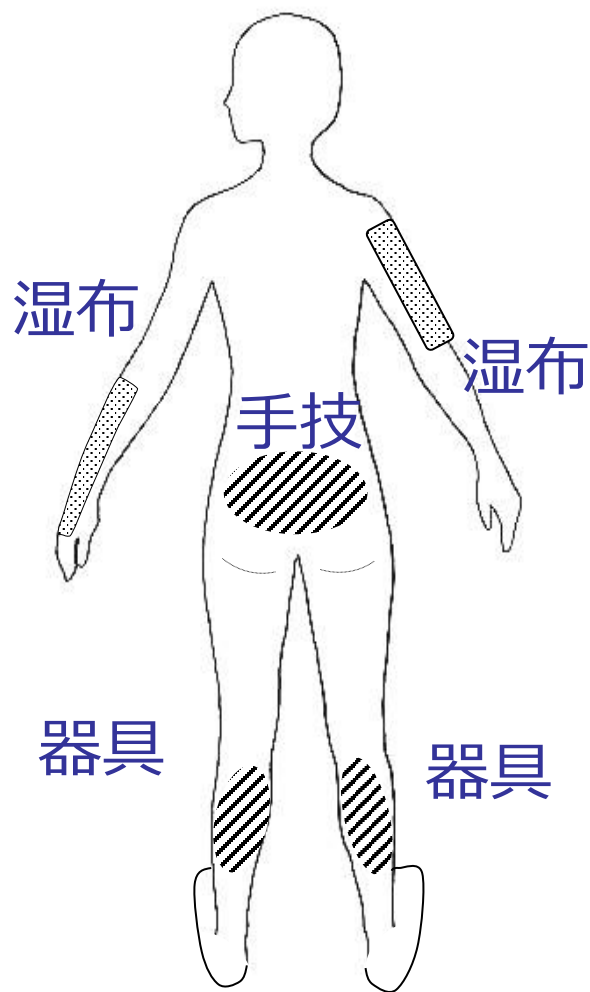
介達牽引・手技・器具等
合計 2 部位（局所）まで

又は

介達牽引・手技・器具等
合計 3 部位（局所）まで

**算定例
1**

右上腕と左手部～左前腕に湿布処置
右下腿と左下腿に消炎鎮痛等処置(器具)
腰部に消炎鎮痛等処置(手技)



湿布処置 等

四肢加算の倍率ごとに算定合算

+

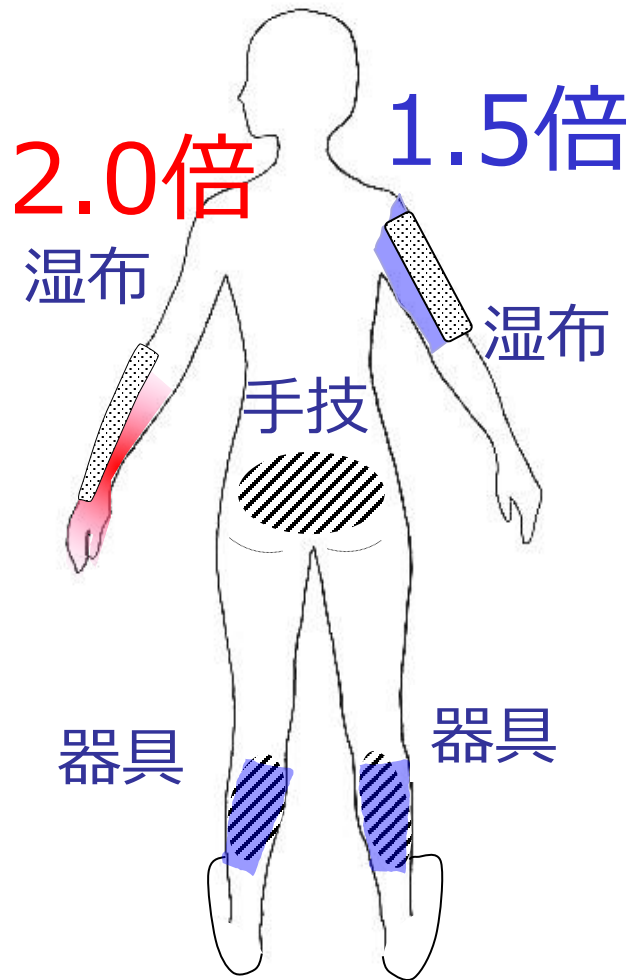
介達牽引・手技・器具等
合計2部位（局所）まで

又は

介達牽引・手技・器具等
合計3部位（局所）まで

算定例 1

右上腕と左手部～左前腕に湿布処置
右下腿と左下腿に消炎鎮痛等処置(器具)
腰部に消炎鎮痛等処置(手技)



湿布処置 等
四肢加算の倍率ごとに算定合算

+

介達牽引・手技・器具等
合計2部位(局所)まで

【湿布】

$$35\text{点} \times \overset{\text{四肢加算}}{1.5} + 35\text{点} \times \overset{\text{四肢加算}}{2.0}$$

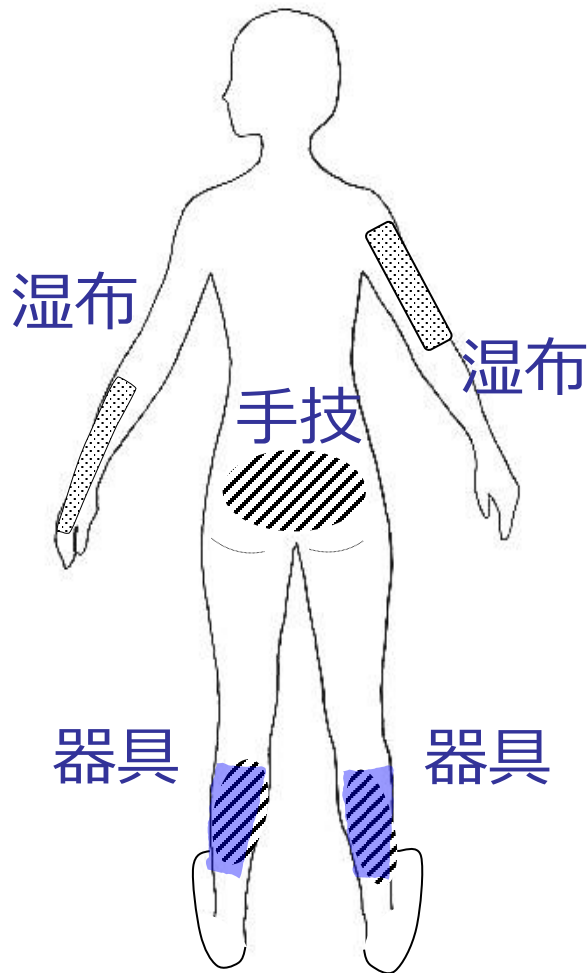
【介達・手技・器具等】

$$35\text{点} \times \overset{\text{四肢加算}}{1.5} + 35\text{点} + \overset{\text{外来管理加算 特例}}{52\text{点}}$$

263点

算定例 1

右上腕と左手部～左前腕に湿布処置
右下腿と左下腿に消炎鎮痛等処置(器具)
腰部に消炎鎮痛等処置(手技)



介達牽引・手技・器具等
合計3部位（局所）まで

【介達・手技・器具等】

$$\begin{array}{l}
 \text{四肢加算} \\
 35\text{点} \times 1.5 \times 2 + 35\text{点} + 52\text{点} \\
 \text{外来管理加算} \\
 \text{特例} \\
 = 193\text{点}
 \end{array}$$

算定例 1

右上腕と左手部～左前腕に湿布処置
右下腿と左下腿に消炎鎮痛等処置(器具)
腰部に消炎鎮痛等処置(手技)

【湿布】

湿布を算定する場合

四肢加算

四肢加算

$$35点 \times 1.5 + 35点 \times 2.0$$

【介達・手技・器具等(2部位まで)】

四肢加算

外来管理加算特例

$$35点 \times 1.5 + 35点 + 52点$$

263点

【介達・手技・器具等(3部位まで)】

湿布を算定しない場合

四肢加算

外来管理加算特例

$$35点 \times 1.5 \times 2 + 35点 + 52点 = 193点$$

リハビリテーション及び処置の併施

リハビリと介達牽引・手技・器具等の併施



介達牽引・手技・器具等は異なる部位（局所）に行った場合に限る

リハビリ

+

介達牽引・手技・器具等
いずれか **1 部位（局所）**

又は

介達牽引・手技・器具等
合計 3 部位（局所）まで

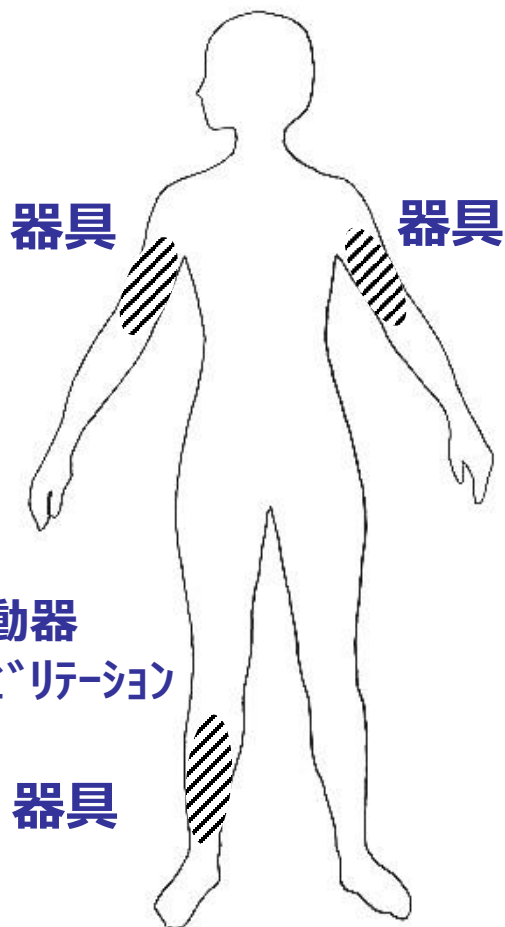
算定例 2

右下腿 運動器リハ（I） 1単位

消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

右上腕 消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

左上腕 消炎鎮痛等処置(器具等による療法)



リハビリ

+

介達牽引・手技・器具等
いずれか1部位（局所）

又は

介達牽引・手技・器具等
合計3部位（局所）まで

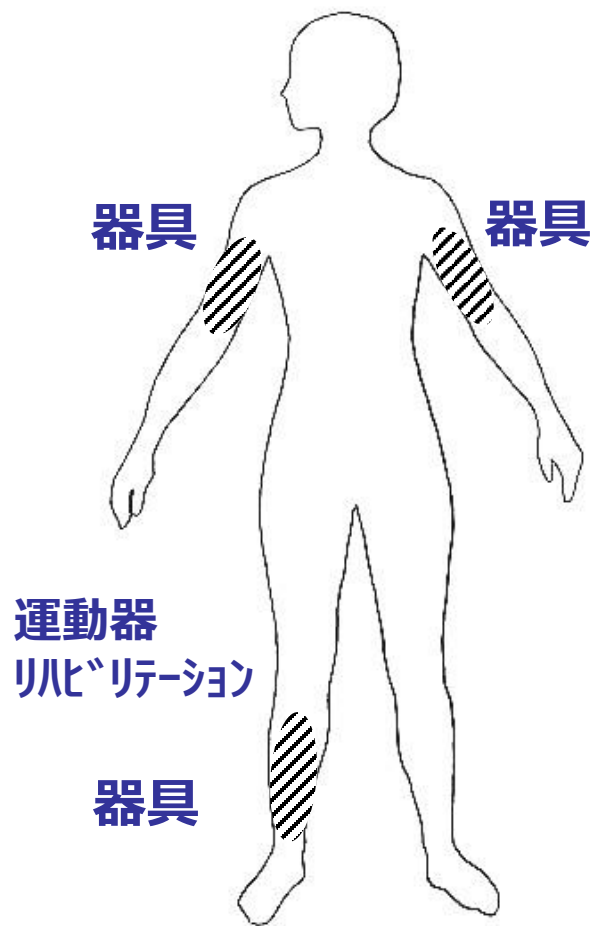
算定例 2

右下腿 運動器リハ（I） 1単位

消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

右上腕 消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

左上腕 消炎鎮痛等処置(器具等による療法)



リハビリ

+

介達牽引・手技・器具等
いずれか1部位（局所）

【リハビリ】

四肢加算

190点 × 1.5

【介達・手技・器具等】

四肢加算

35点 × 1.5

338点

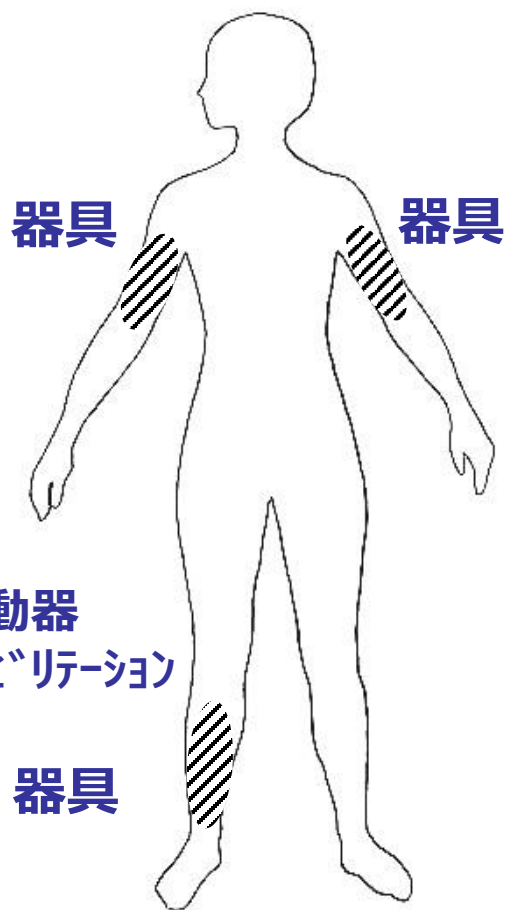
算定例 2

右下腿 運動器リハ（I） 1単位

消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

右上腕 消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

左上腕 消炎鎮痛等処置(器具等による療法)



介達牽引・手技・器具等
合計3部位（局所）まで

【介達・手技・器具等】

四肢加算

35点×1.5× 3 = 159点

算定例 2

右下腿 運動器リハ（Ⅰ） 1単位

消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

右上腕 消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

左上腕 消炎鎮痛等処置(器具等による療法)

リハビリを算定する場合

【リハビリ】

四肢加算

$$190\text{点} \times 1.5$$

【介達・手技・器具等(1部位)】

四肢加算

$$35\text{点} \times 1.5$$

338点

リハビリを算定しない場合

【介達・手技・器具等（3部位まで）】

四肢加算

$$35\text{点} \times 1.5 \times 3 = 159\text{点}$$

リハビリテーション及び処置の併施

リハビリと湿布処置等の併施

リハビリ

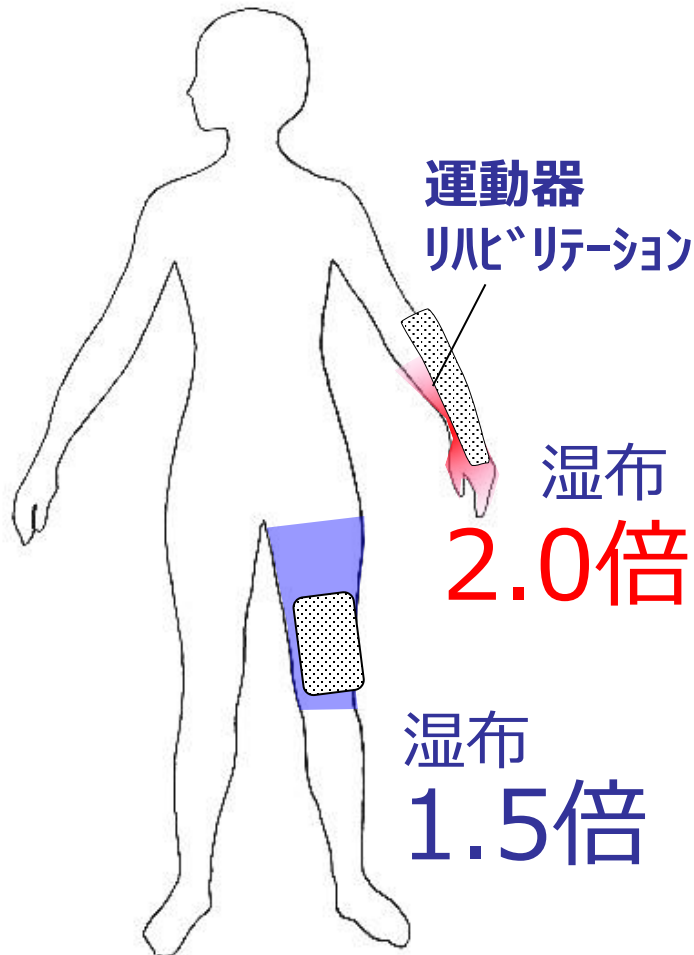
+

湿布処置 等
(いずれか 1 部位)

算定例 3

左手部～左前腕
左手部～左前腕
左大腿

運動器リハ（Ⅲ） 1単位
湿布処置
湿布処置



リハビリ

+

湿布処置 等
(いずれか 1 部位)

【リハビリ】

四肢加算

85点 × 1.5

【湿布】

四肢加算

35点 × 2.0

198点

リハビリテーション及び処置の併施

リハビリ、湿布処置等と

介達牽引・手技・器具等の併施



湿布処置等と介達牽引・手技・器具等は異なる部位(局所)に行った場合に限る

リハビリ

+

湿布処置 等
(いずれか 1 部位)

+

介達・手技・器具 等
1 部位 (1 局所)

湿布処置 等

四肢加算の倍率ごとに算定合算

+

介達牽引・手技・器具 等合
計 2 部位 (局所) まで

又は

介達牽引・手技・器具 等合
計 3 部位 (局所) まで